

# しゃくなげ



DENSOKU 発行日 2021年11月15日  
No. 499号 発行 株式会社でんそく

## 品質月間にあたって

代表取締役社長 櫻井 賤男

今年の立山での初冠雪は昨年より4日遅かった様です。いよいよ冬支度の準備が必要な季節になりました。新型コロナウイルス感染症の感染者数も県内では零が続いています。一日も早く、平常の経済(営業)活動が出来る日が来る事を期待します。その為にも私共社員全員、そして家族全員が今一度コロナ感染症対策をしっかりと守っていきます。この様なコロナ禍の厳しい環境下で何とか、上期を乗り切る事が出来た事に対して、客先様納入業者様そして社員の皆様方の御協力に感謝申し上げます。

今年の全国品質月間テーマは「今こそ目指そう新たな社会のクオリティ」となっています。これまでの品質管理活動は、製品の質向上、製品のプロセスの質、そして企業マネジメントの質へと進化しています。今年はその範囲を従業員、家族、企業の壁を越えた社会全体を顧客としている点です。今年度の社内品質標語ポスターに入選された「ものづくりの原点は全員参加の組織力 コミュニケーションが原動力」が当社にとって今、必要な言葉ではないでしょうか。皆様もご承知の通り会社にとって一番大事なのは組織力です。生きた組織にする為には上司と部下、部下同士が思いをお互いに伝え合う事が出来るかです。これを達成するには、コミュニケーション能力が大事といわれています。その第一歩である社員同志の声掛け、朝の挨拶が現状全員(自分も含

めて)に浸透していないと考えています。

評論家・シスターである鈴木秀子さんの言葉を紹介します。“「お早う」という言葉を私たちは普段当たり前のように聞いていますが、それは今日という新しい一日に向かって動き始めた自分自身への励ましであると共に、その日出会う人たちを祝福する言葉ともいえます。皆がしっかりと目を開けて相手を見つめながら、思いが伝わるように「お早う」と声を掛ける時、その挨拶は相手の尊厳を認める事になり、自分自身に対しては健康に生きられる事への感謝と「きょう一日しっかり生きるぞ」という覚悟の表れともなるのです。”これを読んでお早うはとてもシンプルでも深い意味が込められている言葉であると感じました。コミュニケーションの第一歩は正に、朝の挨拶「お早う」が全社員一人のこらず言えているかどうかです。

昨年より社内でのいくつかの課題がありますが、全てコミュニケーションに関する案件が多いと思います。まずは朝一「お早う」の挨拶を今日(11/15)から徹底する事によって解消すると思います。これを実践する事でお互いに良い品質月間にしたいと思います。皆様方の御協力をお願いします。

今年も残り1.5ヶ月です。「社内コミュニケーションは朝の挨拶から」を実行して、この繁忙期を乗り越えましょう！

## 市原発電所 リフレッシュ工事の現場

製造部 永山 一夫

市原発電所は、北陸電力榑様手取川水系の出力1100kW、横軸フランシス、大正9年運転開始100年以上の歴史をもつアンティーク発電所です。

弊社は、リフレッシュ工事のうち、制御ケーブル工事を受注させて頂きました。作業場の環境は、一階フロアに配電盤・発電機他全ての機器がコンパクトなスペースに設置されています。道路横の門扉から一階作業場までは標高差20m、階段数96段、階段角度38°ここを7・8往復するのですから、毎日が足腰の強化トレーニングです。重量物等の資機材の搬入搬出は、道路を閉鎖し、ラフタークレーンを使用します。クレーン作業はオペレーターから吊荷の着地点が見えない地形条件なのでクレーン操作は無線機を使用し連絡します。

このような状況のなか、発電機分解工事・配電盤取替・ケーブル工事等が同時作業で行われています。

コロナ感染防止・作業場の取合の調整・大型資材の仮置き搬入搬出等でトラブルが起らないよう手取水力センター工事課 担当者様の御指導のもと、現場は各業者間のコミュニケーションも良くワンチームとして機能しています。

今私たちは、12月24日の運用開始に向け頑張っています。そして、最高のクリスマスを過ごしたいと思います。アーメン



## コミュニケーション活性化研修会に参加して

製造部 M.E



10月21日、本社3階会議室にて榑致知出版社 課長 仙田 貴也様を講師として「コミュニケーション活性化研修会」が開催されました。マンガで言えば「キングダム」の時代に作られた中国古典『大学』の八条目より引用された月刊誌「致知」を活用しての勉強会でした。「致知」を読み解くことから人間のプラスの心=徳性(良心)を引き出す事、相手の素晴らしいところを

認め、人間性を尊重し共に成長する事を学びます。

今回は数人のグループに分かれて「致知」の推薦箇所を読んで感想を発表し、その感想について共感し褒め合うという内容でした。

素直な気持ちで聞くことが大切で反論や否定はしないというルールになっています。

お互いに褒め合うことで自然と感謝の思いや優しさに気づくことが出来る様になるそうです。

同じ課題を読んでもひとりひとり捉え方や心に響く部分が違うので色々な意見を聞くことが出来良かったと思います。研修を通じてコミュニケーションの大切さに改めて気づけました。



## 2021年度 社内品質標語

本年度採用された品質標語は下記の通りです。《入 選》

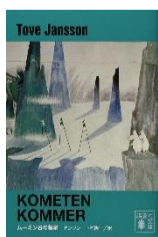
ものづくりの原点は全員参加の組織力  
コミュニケーションが原動力  
(製造部 M.M)

<佳 作>  
新たな社会に向けて  
全員で築き上げる確かな品質  
(製造部 M.O)

今自分に出来ること 初心に返りすぐ確認  
未来に繋がる品質管理  
(製造部 M.M)



「ムーミン谷の彗星」  
講談社  
トーベ・ヤンソン/著  
下村 隆一/訳



おそろしい彗星が地球にむかってくるというので、いつも静かなムーミン谷は大さわぎに。ムーミントロールは仲よしのスニフと遠くの天文台へ出かけ、彗星を調べてることに。道中、スナフキンや可憐なスノークのお嬢さんと友だちになるけど、ぐんぐん彗星は近づいてきて……。

ムーミンシリーズの中で私が一番好きなお話です。一つの長編物語ですが、次々にいろんな出来事が起こるので飽きずに読めます。子供のころから大好きなシリーズで最初はアニメから見ているのですが、原作の小説を知り、読んでみるとギャップがすごいです。あのほんわか雰囲気はどこへ……となってしまうのですがムーミンと仲間の出会いのお話でもあるので！「たのしいムーミン一家」の次くらいに読むと良いかもしれません。(Y.M)

## ～編集後記～



11月7日、富山マラソン2021が開催され、私も5回目のフルマラソンに挑戦してきました。コロナで昨年は中止となり2年ぶりの開催でしたが、それを祝うかのような秋晴れの天気になりました。なんととっても富山マラソンのコースの一番のポイントは新湊大橋からの景色です。過去3回参加した富山マラソンはすべて雨。で今回初めて秋晴れの美しい新湊大橋からの景色を見ることができ、飛び跳ねたいくらいの最高の気分を味わえました。でも30キロ過ぎたあたりからは、疲労に加え足が痛くてぼろぼろでしたが、ゴールが見えたときは涙が出そうになるほどうれしかったです。

コロナ渦の中、沿道からたくさん応援エールをもらって胸がいっぱいでした。練習不足ででのやめようかとも考えたりしたことあったのですが、参加してよかったです。大会を支えてくださったすべての皆様に感謝したいと思います。ありがとうございました。(K.A)